

研磨技能者養成のため「燕市磨き屋一番館」を管理運営

燕研磨振興協同組合

●所在地：〒959-1276 新潟県燕市小池 3633 番地 7

●電話番号 0256-61-6701

●設立：平成 21 年 9 月

●出資金：240 千円

●組合員数：14 人

●URL：<http://www.tsubamekenma.com/>

背景と目的

燕市産業の基盤技術である研磨業において、事業者の廃業、従業員の高齢化などにより、技能者の減少が顕著となってきた。そのため、早急な技能者の育成が必要となり、平成 19 年に燕市が金属研磨人材育成施設として「燕市磨き屋一番館」を建設した。平成 21 年、当組合が燕市から業務委託を受け人材育成および管理運営を行うことになった。

事業・活動の内容

管理運営として、理事長、見学対応事務 1 名、一般事務 1 名の 3 名の体制で運営している。訓練用に研磨設備を 12 台設置しており、開業希望者には機械設備が設置された部屋の貸出も行う。受講生は、年 3 人×訓練期間 3 年＝9 人の常時確保を目標とし、訓練対象者は、新卒者や失業者以外にも就業者も受講可能で、毎年 4 月から研修をスタートしている。

推進方法については、新卒者および失業者の場合は受講生を組合が雇用し、就業者の場合はその企業での雇用とする。さらに、新卒者および失業者の場合には月 15 万円の奨学金があり、燕市がその一部を補助しているほか、賃金差額および各種保険料は組合が負担している。訓練方法は OJT を主体とする実技訓練を行う。訓練時間は勤務時間とし、勤務日は燕市の産業カレンダーに基づく。1 日 8 時間労働で残業や休日出勤は原則として行っていない。

また、当組合で受注したものを実技研修により加工することで、収益確保と技能向上を同時に実現するとともに、訓練指導は、理事長を中心とする「磨き屋マイスター」といわれる高度技能者が担当している。理事長および事務管理体制に対する組合員の信頼は厚く、組合事業に対する燕市や産業界の理解も深まってきており、組合員からの受注に加え、外部顧客からの受注も順調に推移している。

成果

これまでに 15 名の修了者を輩出し、そのうち 4 名が独立開業の道を選択している。燕市産業界からは、技能承継が進んでいることや独立開業が増えたことから高く評価されている。訓練に際し、個人差を考慮し粘り強く指導することや、密なコミュニケーションが成果に結びついている。